

# 女性の性的反応の証拠となる 生物学的前例

**著者:** Jane Thomas, BSc

**Twitter:** <https://x.com/LrnAbtSexuality>

**LinkedIn:** <https://www.linkedin.com/in/learn-about-sexuality/>

**ResearchGate:** <https://www.researchgate.net/profile/Jane-Thomas-18>

**著者のウェブサイト:** <https://www.nosper.com>

**電子メールアドレス:** [jane@nosper.com](mailto:jane@nosper.com)

**所在地:** イギリス

**開示事項:** すべての研究は著者自身の私的資金から資金提供されています。

**謝辞:** 技術的、精神的サポートをしてくれた夫ピーターと、長年にわたりたゆまぬ励ましをくれたソーシャルメディアの忠実なフォロワーに感謝します。

## 18 要約

19 **背景：**セクシュアリティ、特に女性の性的反応に関する生物学的な先例は、これま  
20 で無視されてきました。

21 **目的：**生物学的な先例が女性の性的反応の説明にどのように役立つかを示すこと。

22 **方法：**新たな研究アプローチにより、性的反応に関連する生物学的な先例を記述し  
23 ます。本論文は、以下の問いへの答えを探ります。

24 自然界における関連先例から何を学ぶことができるか？

25 生殖器官はどのように発達するのか？

26 男根はどのように発達するのか？

27 思春期の発達は男女でどのように異なるのか？

28 性的反応の重要性とは何か？

29 感情的な絆の役割とは何か？

30 **長所と短所：**このアプローチは、現実を反映したセクシュアリティの記述を提供し  
31 ます。しかし、男性の女性のセクシュアリティへの関心と女性のそれに対する関心  
32 の欠如は、女性の性的反応に関する現在の考え方を刷新するためには、多大な努力  
33 が必要であることを意味します。

34 **結論：**性交は、男性の膣挿入欲求と女性の愛情欲求を満たす愛撫行為に基づく、感  
35 情的な絆を築く活動へと進化してきました。キーワード：性的反応、生物学的前例  
36 、性的解剖学、感情的な絆。

- 37 **準拠言語:** この翻訳と原文との間に矛盾や不一致がある場合には、英語版が優先され
- 38 ます。

39	<b>目次</b>	
40	<b>導入</b>	<b>1</b>
41	人間の性解剖学の発達	2
42	思春期における男女の性的発達	3
43	生殖においては男性が主体となる	4
44	男性の支配の領土行為としての性交	6
45	男性のニーズは性交によって最も満たされる	7
46	生殖における感情的絆の役割	9
47	<b>結論</b>	<b>11</b>
48	<b>参考文献</b>	<b>12</b>
49		

## 50 導入

51 セクシュアリティを表す際に使われる用語をいくつか定義しておく役立ちます。  
52 セックスとは、恋人との性行為を指し、通常は膣性交や肛門性交といった挿入性交  
53 を指します。セックスはまた、性染色体や性器の構造など、男性と女性を区別する  
54 生物学的特徴も表します。インターセックスの人は男性と女性の両方の体格を持っ  
55 ていますが、稀な例外です。ジェンダーとは、男性と女性に関する文化的認識を指  
56 します。

57 人間は他の哺乳類と共通の遺産を共有しているため、生物学的および進化論的先例  
58 は、人間のセクシュアリティに対する理解に客観性を与えています。例えば、鳥の  
59 オスはメスが卵を温めたり、幼虫に餌を与えたりするのを手伝うことがよくありま  
60 す。しかし、哺乳類のオスは孤独な生活を送り、他のオスから縄張りを守り、メス  
61 と交流するのは繁殖のためだけです。メスは子孫を守り、世話をします。人間の場合、  
62 ほとんどの男性は個人的な追求に集中することを好み、ほとんどの女性は愛する  
63 人々と人生を分かち合いたいと考えています。

64 男性の積極性と女性の内気さを説明するために、文化的な要因がよく挙げられます  
65 。しかし、他の哺乳類にも同様の男女差が見られます。男性の性欲を抑制できた社  
66 会は未だ存在していませんが、女性は文化や宗教によって抑圧されていると考えら  
67 れています。男性にとって、セックスはリスクのない快楽、あるいは気軽な娯楽に  
68 等しいのです。女性にとっては、その結果はより深刻なものとなる可能性があるた  
69 め、ほとんどの女性は男性のように乱交に走ることはありません。かつては、女性  
70 は感情面や生殖面で脆弱であったため、保護されていました。今日では、シングル

71 マザーや中絶率が高くなっています。しかし、若い女性に交尾行為のリスクを警告  
72 するのではなく、男性が常に享受してきたのと同じ性的快楽を期待するように言わ  
73 れています。

74 性科学は、性交を愛情ある関係という文脈で提示するため、合意に基づくセックス  
75 には、女性が男性に妊娠の可能性のある行為を許すことが含まれることを理解しに  
76 くくしています。関係性におけるセックスは、ポルノ、性的人身売買、売春、レイ  
77 プ、さらには家庭内暴力や児童虐待といった、性的搾取的な側面を説明することは  
78 できません。

## 79 人間の性解剖学の発達

80 私たちの性別は、両親から受け継いだ性染色体によって決まります。女性の 99.9%  
81 は XX、男性の 99.9% は XY です。ごく稀に、3 本の染色体から成る組み合わせもあ  
82 ります。ヒトの胎児には生殖結節があり、これが陰茎またはクリトリスに成長しま  
83 す。14 週までに、生殖結節は男性では外陰茎に、女性では内陰茎になります。陰茎  
84 とクリトリスにはどちらも内部構造があり、血液が充満して勃起を引き起こします  
85 。

86 すべての胎児には 2 組の原始的な腺があり、そのうちの 1 つだけが適切な生殖器官  
87 へと成長します。ミューラー腺は男性では衰えますが、女性胎児では卵巣、子宮、膣  
88 へと成長します。逆に、男性胚では、女性では萎縮するウォルフ腺が精巣、そして  
89 男性腺と男性管へと発達する。論理的に考えると、基本的な反応として、オーガズ  
90 ムは男女に共通する勃起器官の刺激によって生じるべきであり、女性にのみ存在す  
91 る生殖器官の刺激によって生じるべきではない。しかし、性交はオーガズムを引き

起こさないと主張する女性は何人いようと、男性の見解が支配的である。つまり、女性も男性と同様に膣への挿入による性的快感を享受すべきだというのが、サラ・クラスノウとアサ＝ソフィア・マリオ（2021）は次のように記している。“According to some scholars, the allegedly high prevalence of female sexual dysfunction has to do with the fact that the standard of ‘normality’ is based on the male sexual response.” [一部の学者によると、女性の性的機能障害の有病率が高いと言われるのは、「正常」の基準が男性の性的反応に基づいているという事実に関係しているという。]（p. 319）性交は男性のオーガズムを促し、精子の射精を誘発します。女性は男性が射精するまでその体位を維持することが期待されています（Hite, 1976）。女性が性交によってオーガズムに達する理由はありません。卵子は毎月卵巣から放出され、女性のオーガズムの有無にかかわらず精子によって受精します。

## 思春期における男女の性的発達

思春期には、男子のペニスは大きくなり、反応性（オーガズムの頻度）が急激に高まります。この反応性の急増により、男子はペニスと性的な刺激に集中するようになります。男性と女性の脳の違いは思春期に顕著になります。成人男性の脳は女性よりもはるかに頻繁に反応し、より多様な性的な刺激に反応します。男性が自分の性器やパートナーの性器に興味を持つのは、挿入を伴う性交の機会に関連する現実世界の性的なトリガーに反応する精神的能力によるものです。

対照的に、思春期における女性の発達は、排卵、月経、乳房の発達など、生殖能力に集中します。成長中の少女の胸は男性の注目を集め、男性が下品な性衝動に触れない限り、少女はそれをうれしく思います。女性がセックスの動機として挙げる感

113 情的な報酬は、性的なものではありません（つまり、性器や挿入とは直接関係があ  
114 りません）。また、そのような要因は男性の性的興奮を引き起こすわけではありま  
115 せん。

116 愛撫で快感を感じるという女性もいます。しかし、恋人との性器刺激でオーガズム  
117 に至るような性的快感を感じることはありません。女性がオーガズムやクニニリン  
118 グスが何時間も続くと話すのは、このためです。こうした官能的かつ感情的な快感  
119 は、男性がオーガズムと呼ぶ真の性的解放として解消されることはありません。

120 もしクリトリスへの刺激がパートナーとのオーガズムを引き起こすのであれば、カ  
121 ップルは科学的研究を必要とせずに、ずっと以前にこれを発見していたでしょう。  
122 カップルの性生活を性交という観点から定義づけることは、クリトリスへの刺激が  
123 恋人とのオーガズムを引き起こさないことの証拠です。クリトリスは常に膨張して  
124 いるだけで（硬くなることはなく）、ペニスよりも刺激に敏感ではありません。し  
125 かし、男女間の解剖学的な違いは、心理的な違いに比べれば些細なものです。ほと  
126 んどの男性は、自分の性的興奮と性欲を強く意識しています。

127 クリトリスへの刺激が亀頭への刺激と同じだというのは誤解です。亀頭は過敏な場  
128 合があり、直接刺激されると快感よりも不快感を感じる場合があります。女性がオ  
129 ーガズムを感じるのは、精神的な興奮がクリトリスへの刺激を求めるからです。

## 130 生殖においては男性が主体となる

131 ほとんどの動物と多くの植物は有性生殖を行います。両親から遺伝物質を受け継ぐ  
132 ことで、種は変化する環境に素早く適応し、生存の可能性を高めます。植物におい  
133 ても、雄性器はより活動的で可動性が高いため、静止した雌性器を受精させます。



134 男性の性欲とは、リスクを顧みず性交に臨もうとする強い衝動です。女性はこの経  
135 験に共感しません。シェア・ハイト（1976）は次のように述べています。“even if a  
136 man has a strong physical desire for orgasm – an erection, for example – there is nothing in  
137 nature, nothing physical, that impels him to have that orgasm in a vagina”. [男性がオーガズ  
138 ムに対する強い肉体的欲求（例えば勃起）を持っていたとしても、自然界や肉体に  
139 は、膣内でオーガズムを得るよう駆り立てるものは何もない。] (p. 466) 性科学者は  
140 オーガズムに焦点を当てることで、男性の性欲が人間の生殖の成功に及ぼす前例を  
141 無視してきた。

142 動物における発情期の影響は、雌が他の動物に騎乗することを許容することである  
143 （Kinsey et al, 1953）。「性欲」という用語は、「性欲」という概念にほとんど共感  
144 しない女性のために作られた造語である。女性は通常、家族の目的と男性の性的ニ  
145 ーズへの対応という観点から性交を正当化する。男性にとっては、性交のたびに（  
146 複数の女性を）妊娠させる可能性がある。しかし、女性が性交を行うには、同様の  
147 生物学的動機は存在しない。女性は9ヶ月に1回以上妊娠することはできない。

148 性交は、男性に最適な性的解放をもたらす交尾行為として社会に容認されている。  
149 性的興奮の欠如による女性の受動性は、男性が性行為を自ら定義することを可能に  
150 し、それによって自身のニーズが満たされ、生殖が最適化されることを保証する。  
151 正常位での性交は、女性に上半身の愛撫を、男性に挿入による官能的な快感をもた  
152 らします。生殖リスクがあるにもかかわらず、性交は女性が男性を満足させる最も  
153 簡単な方法であり、フェラチオや自慰行為に比べて、露骨な関与や努力が最も少な  
154 くて済みます。

155 女性の生殖への貢献には、妊娠、出産、授乳、育児が含まれます。男性の射精液の  
156 受容者としての性交における女性の役割は比較的小さいです。挿入を伴う性交はほ  
157 とんどの男性にとって不可欠です。女性のニーズは、愛情と思いやりのある行動に  
158 関連しています。

## 159 男性の支配の領土行為としての性交

160 多くの人は、相手が男性か女性かを知りたいと思うものです。それは、魅力を確か  
161 めるためだけでなく、望まない性的接触を避けるためです。性交は、男性が女性の  
162 膣に精液を注入する縄張り意識に基づく行為であり、女性に子孫を産む義務を負わ  
163 せる可能性もあります。確実な避妊が女性の性欲を高めるという考えは誤りです。  
164 カジュアルなセックスをする女性はほとんどいません。女性にとって、生殖におけ  
165 る優先事項は（オーガズムではなく）支えてくれる相手を見つけることです。

166 男性が妻と性交を行う法的権利は、時とともに侵害されてきました。英国では、貴  
167 族院の1991年の判決を受け、2003年の性犯罪法に基づき、婚姻関係における強姦は  
168 違法となっています。“Nowadays it cannot seriously be maintained that by marriage a wife  
169 submits herself irrevocably to sexual intercourse in all circumstances.” [今日では、結婚によ  
170 って妻がいかなる状況においても性交に不可逆的に従うということを真剣に主張す  
171 ることはできない。] 女性は依然として夫の性交の欲求に応じる義務を感じるかも  
172 しれないが、もはや法律上の義務ではない。

173 “The legal definition of rape is when someone puts their penis in  
174 another person's vagina, anus or mouth, without the person's  
175 permission.” [強姦の法的定義は、相手の許可なく自分のペニス

を相手の膣、肛門、または口に入れることです。]

(Metropolitan Police, 2025)

同意の概念は、男性と女性が性行為から得る報酬の違いを反映しています。ほとんどの女性は、通常の性交に踏み切る前に感情的なつながりを感じたいと考えています。

女性は合意に基づく性交からはほとんど感情を抱きません。しかし、男性の性欲の必然的な帰結である性的暴行には積極的に反応します。その結果、抵抗するパートナーの行動が男性を興奮させることがあります。逃げる女性の悲鳴を楽しむためにペニスを露出させる男性もいます。快楽を偽ることで、セックスに費やす労力を軽減できることを学ぶ女性もいます。また、声によるフィードバックや、腰を突き出す、上に乗っかるなどの積極的な行動で男性を興奮させる女性もいます。意識的な女性の行動と男性の反応に基づくこの性的協力（またはセックスプレイ）は、男性と女性が行うゲームの一部です。

## 男性のニーズは性交によって最も満たされる

生殖過程は、男性が女性の膣に精子を注入することに依存しています。そのため、性交においては、男性のオーガズム（確実でなければならない）が女性のオーガズム（必須ではない）よりも優先されます。これが、男性が性交を積極的に求める理由です。勃起や射精を含む男性の性的反応は、人間の生殖にとって不可欠です。女性の性的反応は関係ありません。

性交の動機は男性の心の中に生じます。それは男性の興奮（勃起）に完全に依存しており、男性のオーガズム（射精）で終わります。性交は、挿入による心理的な興

197 奮と、膣が温かく潤滑された管を提供することで陰茎の突き込みを容易にするため  
198 、男性のオーガズムを促進します。男性が性的快感を感じていなくても、射精はオ  
199 ーガズムによって引き起こされます（Kinsey et al, 1948）。

200 男性の支配的な行動と女性の従順な行動については、十分に裏付けられています。  
201 異性愛者の男性は、性的な快樂に関する独自の見解を社会に浸透させています。彼  
202 らは、膣への挿入よりも外陰部の刺激に重点を置くレズビアンや女性の自慰  
203 行為にはほとんど関心を示しません。男性の性的反応は性交によって最も容易に満  
204 たされます。女性が男性の性的忠実性を望むなら、女性の前で興奮した男性が定期  
205 的な性交を求める欲求に応えなければなりません。

206 “In most mammals the behavior of the female in a heterosexual performance usually involves  
207 the acceptance of the male which is trying to make intromission.” [ほとんどの哺乳類では、  
208 異性愛行為におけるメスの行動は、通常、挿入しようとしているオスを受け入れる  
209 ことを伴います。]（Kinsey et al, 1948, p. 613）この女性の受動的な従順さは、男性の  
210 積極的な衝動とは対照的です。人間の場合、女性は意識的に性交を申し出ること  
211 、セックスを通して男性に長期的な愛情関係へのコミットメントを促すことができ  
212 ます。男性と女性のセクシュアリティは互いに補完し合います。平等を主張するこ  
213 とによってのみ、両者は不釣り合いに見えます。女性は、反応してくれる恋人を求  
214 める男性の期待に応えるだけの反応力がないことを認めないかもしれません。一方  
215 、男性は、プラトニックな愛を求める女性の期待に応えるために、性的な刺激への  
216 反応を秘密にすることがあります。

## 217 生殖における感情的絆の役割

218 セクシュアリティは、男性の生殖機能において中心的な役割を果たすことから、し  
219 ばしば性交という観点から定義されますが、女性をはるかに広範な生殖能力を有し  
220 ています。人間のセクシュアリティは、純粹に生殖活動から、家族生活を支える長  
221 期的な関係の絆を築く、男女間の継続的な協力関係へと進化してきました。子供が  
222 成熟するまでには長い時間がかかるため、感情的な絆は人間の生殖の全体的な成功  
223 にとって不可欠です。

224 感情的な絆が成功するのには、以下の理由があります。

225 (1) ほとんどの男性は定期的な性行為を楽しむ一方で、乱交に誘惑されることがある  
226 。

227 (2) 女性同士は、男性が提供する報酬を巡って競争する。

228 (3) ほとんどの男性は経済的支援を提供する責任を受け入れている。

229 (4) ほとんどの女性は、定期的な性交を提供する責任を受け入れている。

230 ごく最近まで、女性は配偶者の保護なしには生き残れなかったでしょう（他の男性  
231 からの脅威のため）。したがって、女性は定期的な性交を提供するよう動機づけら  
232 れています。この行動は、性的動機によるものではなく、生存本能によるものです  
233 。もし女性が（信頼できる避妊法が利用可能になる前に）乱交していたら、男性は  
234 どの子供が自分の子供なのか分からず、女性は家族を育てるために必要な支援を得  
235 ることができなかったでしょう。

236 女性が男性の貞節を求めるのは、性的拒絶による屈辱感だけでなく、女性は男性の  
237 ように乱交に誘惑されないという事実にも起因します（Kinsey et al, 1953）。女性は  
238 、より従順な女性にパートナーを奪われたくありません。したがって、男性が配偶  
239 者に性的に依存するのは、完全に男性のせいではありません。女性が伴侶や男性の  
240 支援を求める欲求も同様に原因となっています。結婚という約束は男性の性的自由  
241 を制限し、性的解放のために配偶者に依存するようにさせます。女性が性的自由に  
242 対して行使するこのような支配に憤慨する男性もいれば、女性の願いを完全に無視  
243 する男性もいます。

244 結婚には、性的貞節と思いやりのある行動が含まれることが理想的とされています  
245 。男性の家族扶養義務と女性の定期的な性交義務は暗黙の了解です。女性は恋愛感  
246 情から男性を喜ばせようとしませんが、男性は生涯を通じて性的欲求を持ちます。人  
247 間の寿命が延び、女性が経済的に自立するにつれて、満足のいく長期的な関係を維  
248 持することはより困難になります。性行動と反応性は、個人の幸福ではなく、生殖  
249 を最適化するために進化してきました。

## 250 結論

251 (1) 自然界では、男性は典型的には性生殖において積極的な主体であり、これは人間  
252 においても、男性の積極的な性行動と女性の受動的な行動に表れています。

253 (2) 男性は女性よりも性的に反応しやすいのは、陰茎が外陰部（クリトリスは内陰部  
254 ）にあり、また男性の脳が女性よりも多くの性的刺激に反応するためです。

255 (3) 性交は、男性優位の行為から、女性に利益をもたらす関係に男性を結びつけ続け  
256 る継続的な感情的な絆のメカニズムへと進化しました。

257 (4) 感情的な絆は人間の生殖の成功に不可欠であり、家族を育てるための安定した支  
258 援環境を作り出す男女間の性的協力が含まれます。

259 参考文献

- 260 Krasnow, Stefanie Sara, and Asa-Sophia Maglio. Female sexual desire: what helps, what  
261 hinders, and what women want. *Sexual and Relationship Therapy* 36.4 (2021): 318-346.
- 262 Shere Hite. *The Hite report*. Macmillan Publishing Company. 1976.
- 263 Kinsey, Alfred, Pomeroy, Wardell, Martin, Clyde & Gebhard, Paul. *Sexual Behavior in the*  
264 *Human Female*. W.B. Saunders Company. 1953.
- 265 Metropolitan Police UK. *What are rape and sexual assault?* Accessed May, 2nd 2025;  
266 [https://www.met.police.uk/ro/report/rsa/alpha-v1/advice/rape-sexual-assault-and-other-](https://www.met.police.uk/ro/report/rsa/alpha-v1/advice/rape-sexual-assault-and-other-sexual-offences/what-are-rape-sexual-assault/)  
267 [sexual-offences/what-are-rape-sexual-assault/](https://www.met.police.uk/ro/report/rsa/alpha-v1/advice/rape-sexual-assault-and-other-sexual-offences/what-are-rape-sexual-assault/)
- 268 Kinsey, Alfred, Pomeroy, Wardell, & Martin, Clyde. *Sexual Behavior in the Human Male*.  
269 Indiana University Press. 1948.
- 270 Thomas, Jane. *A Research Approach based on Empirical Evidence for Female Sexual*  
271 *Response*. Nosper.com. 2024
- 272 Thomas, Jane. *Interpreting the Previous Research Findings Relating to Female Sexual*  
273 *Response*. Nosper.com. 2024.